

与進小学校 実践報告

(1) 実践内容

今年度、6年4組で研究授業を行った。指導のポイントは以下の通りである。

【指導のポイント】

- 朝の時間に phonics song を活用することで発音を向上させる。
- 健康観察を英語で行い、感情や状態を表す表現に慣れ親しませる。
- 絵本や teacher talk で英語でのやりとりをしながら、多様な語彙に慣れ親しませる。
- talk time などの帯活動で子供たち同士の speaking 力を伸ばす。
- 体を使った多様なゲームを通して、楽しみながら表現を定着させる。
- グループでのゲームなどで classroom English や reaction word を積極的に子供たちに使わせて、子供たちの英語使用量を増やす。
- やりとり (interaction) を中心とした即興性のある、考えて話すコミュニケーション活動を設定する。
- 子供たちの英語の語彙を増やすようなワークシートを使用する。

【6年4組】「Hi friends2 Lesson5 Let' s go to Italy.」6年4組海外旅行人気ナンバー1を決めよう

1. 単元目標

- 自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を意欲的に聞いたりしようとする。
- 行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。
- 世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

2. 単元計画 (全4時間) (←内容は予告なく変更することがあります。)

時	主な学習活動	主な英語表現	朝の活動
1 10/11 3校時	1. あいさつをする。 2. 絵本の読み聞かせをする。 3. Talk time をする。 4. 国名や世界遺産の名前を確認する。 5. ミッシングゲームをする。 6. 国旗クイズをする。 7. Let' s chant 8. 振り返りをする。	Hello, How are you? Can you~? America, The sphinx etc Where do you want to go? What country? Two color, white and red, One big circle.	• Alphabet song
2 10/18 3校時	1. あいさつをする。 2. 絵本の読み聞かせをする。 3. Talk time をする。 4. マジックペンゲームをする。 5. キーワードゲームをする。 6. カード集めゲーム 7. 振り返りをする。	Hello. How are you? Can you ~? America, The sphinx etc Where do you want to go? I want to go~.	• phonics song

<p>3 10/28 1校時 With ALT</p>	<p>1. あいさつをする。 2. Teacher talk をする。 3. Talk time をする。 4. 自分がお勧めする国を決めてパンフレットを作る。 5. ペアで練習をする。 6. 振り返りをする。</p>	<p>Hello. How are you? Where do you want to go? I want to go to ~. Where do you want to go? You can eat (see) ~.</p>	<p>• phonics song</p>
<p>4 11/1 3校時</p>	<p>1. あいさつをする。 2. Teacher talk をする。 3. Talk time をする。 4. ツアーガイドになって、お勧めの国の紹介をする。 5. 投票をして6-4海外旅行人気ナンバー1を決める。 6. 振り返りをする。</p>	<p>Hello. How are you? Where do you want to go? Where do you want to go? Why? Because ~.</p>	<p>• phonics song</p>

【指導の工夫】

①帯活動としての Talk time (Small talk)

毎時間、教師が提示した子供たちの身近な生活を題材にしたテーマをもとに、ペアで2分程度の Speaking 活動を行った。本単元や既習のフレーズを使って話し続けることを目標とした。

②絵本の読み聞かせ・Teacher talk

本単元に関連するフレーズが使えるような絵本を選んで、フレーズに慣れさせたり、多様な語彙にふれてインタラクティブに教師と子供がやりとりしたりすることで、英語を聞いたり、話したりすることに慣れさせた。

③興味関心に合わせた生きたコミュニケーション活動の設定

子供たちの意欲を引き出すために、自分が行きたい国を友達に紹介し、学級の人気投票を行うというコミュニケーション活動を設定した。

④英語の生活化を図るワークシート

英語を使う態度をポイント制にして、授業以外でも英語を話す意欲をもたせたことで、朝や休み時間に廊下でALTや英語担当教師とすれ違ったときなどに、英語で簡単な会話をする児童が増えた。

(2) 成果・課題

【成果】 Talk time やワークシートの工夫などで授業以外でも教師や子供同士での英語のやりとりを楽しむ児童が増えた。授業中の英語使用量が増している。また、英語の生活化を図ることができた。

【課題】 子供たちが話し続けるために、Why?から It's 形容詞.で理由を言わせたい。形容詞の指導を楽しみながら取り入れていくことで、汎用性のあるフレーズで理由を話せるようになるだろう。